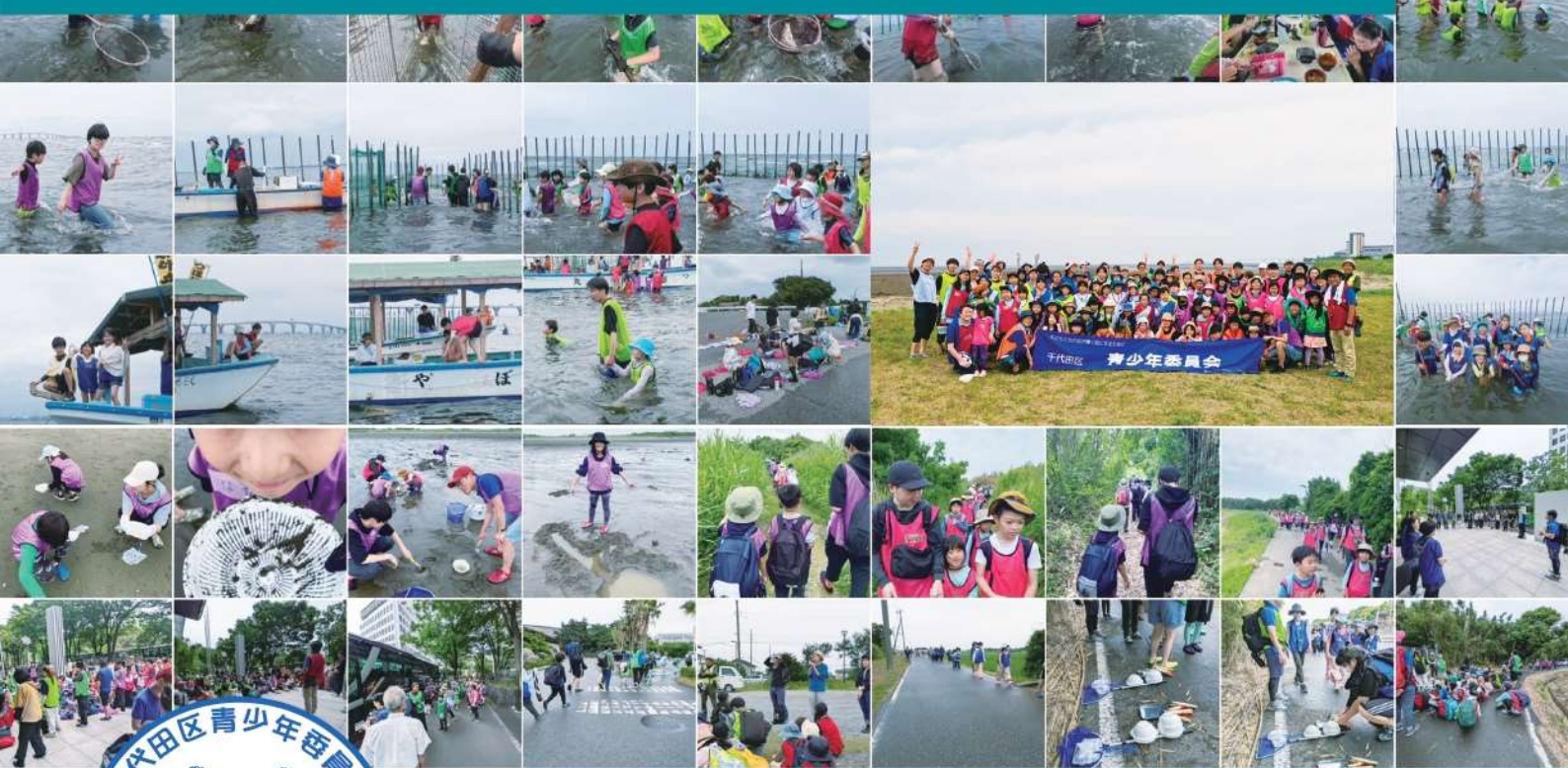




子どもたちの目が輝く街にするために青少年委員は働きます



千代田区青少年委員会



千代田区の小学校、中学校、中等教育学校、児童・家庭支援センター「我が校の自慢」「目玉事業」

番町小学校



校長 美越英宣先生 副校長 久道泰司先生

創立154周年の歴史と伝統のある本校では、「自分大すき 友達大すき 学校大すき 地域大すき」を目指す児童像に掲げ、日々の教育活動に真摯に取り組んでいます。
保護者や地域の皆様のご理解とご支援の下、愛育会（PTA）、B J B（番町ジュニアバンド）、地域行事の番町子ども会などにより、児童の健やかな成長を力強く支えていただいています。
地域と共に歩む本校の姿は、まさに学び舎の理想像です。

翹町小学校



校長 田村砂弥香先生 副校長 三浦美樹先生

翹町小学校は、区内でも児童数が最も多いにぎやかな学校です。東京の真ん中にありながら、学区内に皇居や公園も多くあり、豊かな緑に親しむことができます。子どもたちの歌声がきれいなことが、本校の自慢です。本校に通っていた作曲家・滝廉太郎の歌を、透明感のある美しい歌声で歌っています。4年生以上の有志による翹町小学校合唱団サンシャインキッズの歌声も、地域行事等でぜひお楽しみください。

お茶の水小学校



校長 伊藤栄司先生 副校長 牧田裕一先生

お茶の水小学校の新校舎には「和室」があります。この和室で、6年生は裏千家師範である地域の方から「茶道」を学んでいます。茶道を通して、日本の伝統文化を学び、相手への気配りや立ち振る舞い、マナーなどを考える機会になっています。茶道はお茶の水幼稚園でも取り組み、継続的に伝統文化に触れています。他にも華道や箏、和太鼓など、地域の方が講師になる機会が多くあり、お茶の水の子どもたちのために深い愛情を注いでいただいています。

昌平小学校



校長 浅岡寿郎先生 副校長 吉井克憲先生

全てが自慢です。
児童は朝会に整然と参加し、休み時間は元気一杯、メリハリある学校生活を送り、教職員も一致団結し、保護者の皆様とスクラムを組んでいます。本校特色の昌平祝太鼓、神田川船の会、寄席、昌平音楽祭、子ども会・コミュニティスクール運営委員会の皆様の活発な活動は、地域の皆様のご協力がなければ成り立たない活動ばかりです。チーム昌平は今年もそして未来永劫大きな自慢であり続けます。

富士見小学校



校長 小牧来太先生 副校長 鬼塚信之先生

自慢1：子どもが「自ら学び、自ら考える児童」を育成するため全教職員が学習指導を改善しています。
自慢2：屋上庭園を活用し、児童や保護者、地域の方々が協働して農作物を楽しく作っています。
自慢3：3・4年の児童がモロッコ王国大使館とモロッコ王国の子ども達と異文化交流をしています。
自慢4：ボランティア活動やゲストティーチャーを通し、地域の皆様のご温かさに触れ、豊かな人間関係を築いています。
学校のステークホルダーが連携し、さらに「富士見小学校」を素敵な小学校にします！

九段小学校



校長 難波明夫先生 副校長 田中美智子先生

Kindness思いやり Union団結 Development発展 Activity活発 Noble上品な九段小学校です。
この5つの中から特にNoble「上品な」を重点として九段ブランドを創っています。〈九段ブランド〉とは「本校のよさと伝統」です。ひとつのもの（こと）を創り上げていく喜びを子どもや保護者、地域の方とともに分かち合い、子どもが成長する姿をみんなで実感しています。本校のよさは「どの子も伸びる 学びの九段小」であり、家庭と地域、学校が子どもたちのために一体となっていることです。

千代田小学校



校長 須藤敏之先生 副校長 高久道子先生

本校の子どもたちはあいさつが上手で、何よりも素直です。毎朝学校の玄関に立つと、「おはようございます！」と元気な声であいさつしてくれる子どもたちに励まされています。こうした姿は、ご家庭や地域の皆様のご温かなご指導の賜物であると、心より感謝しております。
これからも、子どもたちが自分らしく幸せな一日一日となる学校づくりに努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

和泉小学校



校長 服部達彦先生 副校長 石井正敏先生

和泉小学校は、地域とのつながりを大切にし、さまざまな活動を積極的に行っています。今年は神田祭の年でしたが、4年生以上で神輿担ぎ体験を行い、神田祭当日も子ども神輿を担ぐなど地域の方々と一体となってお祭りに参加しています。ビッグバンドクラブや神田囃子教室、神田雷神太鼓教室、ミニバスケットボールクラブ。地域の方のご協力のもと、こうした教育活動を通じて子どもたちは地域の一員としての誇りをもち、温かい人々に囲まれて成長できるのが自慢の小学校です。

九段中等教育学校



校長 野村公郎先生 後期副校長 桂優子先生 前期副校長 山中祐子先生

教育DXとICT教育。
生徒が主体的に活動しているところ。
伝統行事が繋がっているところ。

翹町中学校



校長 堀越勉先生 副校長 関根憲一先生

「15歳の春を笑顔で迎えるために」3年の卒業を素敵な笑顔で迎え、誇りをもって自分の選んだ道に進む子どもたちを育てるために、私たち翹町中学校は全力で子どもたちに関わり、使命を果たして行きたいと思ひます。翹町中には、学年カラーと呼ばれる3つの色（紺色・エンジ色・黄色）があります。学年カラーをあしらった校章が令和6年度から復活しました。伝統ある名門校の証として、いつまでも大切に子どもたちの胸で輝き続けることを願っています。

神田一橋中学校



校長 盛谷樹先生 副校長 神田宜典先生

本校の通信教育課程には、現在、67歳から92歳までの19名の生徒が在籍し、日夜勉学に励んでいます。12歳から15歳までの生徒と中学生どうし語り合う交流会では、世代を超えて「学ぶことの大切さ・すばらしさ」について思いを共有しています。お互いの存在は、目標を再確認し、意欲的に学びに挑戦することへの大きな支えになっています。
昨年採用した新標準服は、個性を引き立てると同時に、学校の一体感も高め、ジェンダーにも対応し、生徒たちの自信と誇りを育む一助となっています。環境に配慮した素材のブレザーはサイズ調整可能で快適さと持続可能性を両立しています。衣替えもなく気温に応じて着こなしを変えることができます。

児童・家庭支援センター



宮原智紀所長

児童家庭支援センターでは、子どもたちの健全な育成と子育て家庭の支援を行っています。
その中でも、今年度は私立学童クラブ2か所を新たに開設し、学童クラブの運営を支援することで、保護者の皆様の就労支援の充実を図ってまいります。また、発達障害等のお子さんが安心して過ごすことができるように、保護者の皆様のご負担を軽減できるよう、療育経費の助成を行っておりますが、今年度はより支援が必要なお子さん向けの助成上限額を2倍に引き上げ、経済的負担をさらに軽減してまいります。



東京都青少年委員会連合会中央ブロック定例会

令和7年5月31日(土) 中央区青少年委員会主催 中央区立城東小学校

中央区・港区・文京区・千代田区の青少年委員が集まり校内を見学させていただきました。東京駅の目の前という特異な立地ですが、屋上に畑・水田があり、天井開閉式のグラウンドでは太陽光や風を感じる事ができます。ホテルと一体化した都心の新たなモデルケースとして機能していました。

各区の活動報告・グループディスカッションを行い情報交換をしました。

東京都青少年委員会連合会定期総会

令和7年6月7日(土)

国立オリンピック記念青少年総合センター



警視庁より闇バイトの話の伺いました。犯罪件数は年々減少していますが、凶悪、粗暴の犯罪が増加しているとのことでした。闇バイトの沼にはまらないために関連する様々な動画があるので観てもらいたいとお話でした。

管外研修会

令和7年6月21日(土)～22(日)

国設「軽井沢野鳥の森」ピッキオ軽井沢※

『チーム対抗火おこしチャレンジ』を体験しました。約1時間の間に全く火はおこせず、最後の最後に1チームのみが成功。道具を使って火を得る事がいかに難しいか実感しました。電気の無い時代に人々が普通に行っていたことができない現代の私達。便利すぎる世界を考えさせられました。

※子ども・親子から大人向けなど多くの魅力的なネイチャーワークツアーを年間通しておこなっています。



この道具を使い摩擦で木くずから火種をつくります。



ばんざい
火がついた！

令和7年度「しぜん探検隊」

第1回 ひがた探検

6月8日(日) 木更津の小櫃川(おびつがわ)河口干潟にて「ひがた探検」をしました。ひがたに生息する生き物を探し、その後はレクリエーションで楽しみました。



海の生き物がたくさん！



第2回 すだて漁

7月12日(土) 木更津の金田漁港にて「すだて漁」を体験。すだての中にいる魚を手や網を使って捕まえます。昼食には自分たちが捕まえた魚のお刺身もいただきました。



青少年委員会サポートサイトもご覧ください
<https://www.seishonen.jp>

千代田区青少年委員だより Vol.60号

発行日 令和7年9月

編集 青少年委員会 広報委員会

発行 子ども部 子ども総務課

電話 03-5211-4274

千代田区青少年委員会

検索

